

# Our Technologies, Your Tomorrow

たゆまぬ技術力の強化と研鑽により、地球的な課題にソリューションを提供している三菱重工グループの事業を紹介します。

## GLOBAL CHALLENGE

From 欧州



自動車の環境規制が進む欧州。ディーゼル乗用車の環境対応装置として、三菱重工のターボチャージャが活躍。



## 世界最高効率のターボチャージャが 欧州の自動車市場で求められる環境対応に貢献

環境(燃費)規制の強化により、欧州では自動車市場が新たな局面を迎えている。ディーゼル乗用車が広く普及する欧州において、環境対応の要ともいえるのがターボチャージャだ。エンジンの空気量を制御し、排気ガスをクリーンにするターボチャージャは、エンジンのダウンサイジングにもつながる。三菱重工では高速回転機械の技術をベースに性能・品質を磨き上げ、世界最高効率のターボチャージャを開発。この技術はガソリン乗用車にも応用され、さらなる広がりを見せている。今年、三菱重工のターボチャージャ生産は過去最高を記録する見込みで、2017年までに販売台数1,000万台を目指す。

海外拠点のグローバル体制確立による顧客近傍での生産拡大、新製品の開発加速と新分野への参入を進め、環境保護により一層貢献していく。



今後4年で、世界のターボチャージャ市場は50%伸長する見込み。地域別に見ると、欧州が市場全体の半分以上を占めている。

今回の  
ドメイン



## 機械・設備システム

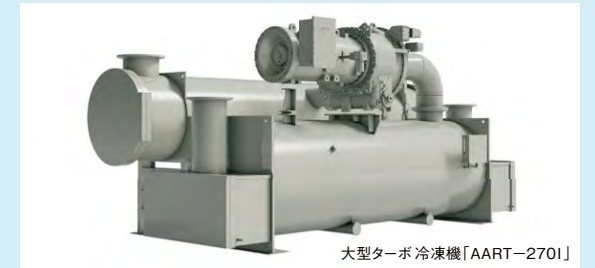
量産品からプラント設備まで、社会、産業を支える広範囲なサービスを提供。ものづくり企業としての高い技術力で人と人、企業と企業、現在と未来をつなぐ。

## NEWS TRENDING



### 廃棄物焼却発電事業に参画 ハイフラックス社と共同で受託

三菱重工グループは、シンガポールの水処理・水供給運営事業大手であるハイフラックス社と共同で、同国チュアス地区における廃棄物焼却発電施設の建設および25年間の運営・運転・保守を受注した。契約処理量は3,600トン/日、発電量12万kW級を予定。2019年前半の完成・商業運転開始を目指す。三菱重工グループはこれまでもシンガポールで2000年に完成した4,320トン/日という世界最大級の処理能力を持つチュアスサウス廃棄物焼却発電施設など3件の建設を手掛けており、東南アジアでは業界最多の納入実績を誇る。この参画を通じて、東南アジアの環境関連市場における官民パートナーシッププロジェクトの成功モデルを確立し、海外ビジネスを拡大するとともに世界的な環境問題に貢献していく。



### 総冷房能力約20万冷凍トン 大型ターボ冷凍機納入

三菱重工は世界最高水準の冷凍効率・環境性能が評価され、サウジアラビアのマディーナで進む都市開発プロジェクトの地域冷房プラント用に大型ターボ冷凍機80台を受注。総冷房能力は約20万冷凍トンで、約160万㎡のエリアへの冷水供給を担う。機種は「AART-270J」で、2015年秋から納入を開始している。



### 需要高まる段ボール製函装置を 世界へ展開

三菱重工印刷紙機械は、段ボール箱を製造する製函機EVOLの機能を向上させることで世界トップレベルの箱品質と生産性を実現し、米国の紙包装材メーカー大手より数10台を受注した。この他、アジア諸国や中国、欧州など世界各国へ販売を展開している。

今号で取り上げた「機械・設備システムドメイン」のほかにも、三菱重工グループでは各ドメインの事業・製品が世界中で活躍しています。

### エネルギー・環境



火力・原子力・再生可能エネルギーなどのエネルギー分野、水処理・排煙処理などの環境分野、化学プラントなどのソリューションを提供。

### 交通・輸送



民間航空機や交通システムなど、陸・海・空の先進的な交通・輸送システムを提供し、品質と信頼性で社会の交通・物流インフラをサポート。

### 防衛・宇宙



防衛航空機やロケットなど、陸・海・空・宇宙を舞台に統合防衛システムと宇宙関連サービスを提供し、安心、安全の構築に貢献。